

大動脈弁逆流(Aortic valve regurgitation ; AR)

大動脈弁の拡張期閉鎖が不十分となり大動脈弁逆流を生じる病態である。

AR は経過から急性と慢性に分けられる。
無症状の期間が長い慢性 AR ではその手術適応の決定に苦慮することが多い。
急性大動脈弁閉鎖不全症では緊急手術を含めた迅速な判断が必要とされる。
慢性 AR では無症状で経過する期間が長く心機能の低下とともにその予後が悪化することから正確な診断と予後を踏まえた治療方針決定が重要な疾患である。

大動脈弁閉鎖不全症とは

大動脈弁の閉鎖不全により、大動脈から左心室に逆流してしまう疾患です。

大動脈弁が閉鎖不全を起こすと・・・

大動脈から左室内へ血液が逆流し
左房からの血液と合わさって
左室に容量負荷がかかる

左室の内腔拡大・冠血流量の減少

心筋虚血

左心不全

狭心痛

原因 ● リウマチ熱 ● 感染性心内膜炎 など

